
東アジア文化交渉学会

第 15 回国際学術大会のお知らせ

第 15 回東アジア文化交渉学会（SCIEA）年次総会が 2023 年 5 月 6 日（土）～7 日（日）に中国南開大学にて開催される運びとなりました。

東アジアは古代では漢字、仏教、儒教、律令制などを絆に交流してきており、輝かしい東洋の文明を作り上げました。近代に入ってからまた欧米文化との交渉・融合を経て、多彩で特色のある地域文化を育んできました。21 世紀において、グローバル化が進むにつれて、より開放的な姿勢で世界を抱擁し、人類運命共同体の構築に新たな貢献を果たすに違いありません。

これに鑑みて、2023 年第 15 回東アジア文化交渉学大会は「東アジア文化の融合と革新」をテーマに、以下の 3 つの課題に重きを置き、学術交流を行う予定です。

- (1) 古代東アジア文化の融合と創造；
- (2) 近現代東アジア文化の融合と創造；
- (3) グローバル化時代の東アジア文化の融合と創造；

主催校の南開大学は、中国天津市に位置し、1919 年に設立され、豊富な学科を擁する総合的な研究型大学です。百年余りの発展を経て、現在は八里台キャンパス、津南キャンパス、泰達キャンパスという三つのキャンパスを有し、文系理系を中心に、基礎が広く、応用と革新を際立たせる特色を形成し、2017 年 9 月に中国の「双一流」建設 A 類大学に選定されました。南開大学は長期にわたって開放的な学校運営を堅持し、すでに世界 40 余りの国と地域の 320 余りに及ぶ有名な大学と学術交流や国際協力関係を結んでいます。

第 15 回年次総会は、下記の総合テーマと分科会テーマを中心に研究発表が行われる予定です。学会会員および若手研究者の皆様に振るってご参会頂けますよう、心よりお待ち申し上げます。

年次大会テーマ

東アジア文化の融合と創造

分科会テーマ：

1. メディアとしての漢字・詩文と東アジアの政治外交
2. 筆談と東アジアの文化交渉
3. 儒教、仏教と東アジアの文化交渉
4. 東アジア知識史に関する研究
5. 帝国/民族/地域の知識をめぐる交渉
6. 言語、文学、歴史及び哲学の翻訳と知識移転
7. 芸術・教育分野における文化交渉
8. 公衆衛生、伝染病、医薬と文化交渉
9. 地域文化と観光分野の文化交渉
10. その他東アジア文化交渉に関する研究

会議日程

2023年5月6日（土）～7日（日）

会場

南開大学八里台キャンパス（中国・天津市 南開区衛津路 94 号）

会議形式

会場校における基調講演と一部のパネルセッション、及びオンラインパネルセッション・個人発表等を行う予定。

※防疫当局の方針により会議の日程及び方式が変更の可能性あり。

申請手続

SCIEA 会員とその他の発表予定者（非会員の方は事前に入会手続を行ってください）は、以上の大会テーマまたは分科会テーマを参考に、2023年1月15日までに参加申請書と発言概要（400字程度）を大会準備委員会に送って下さい。大会準備委員会は申請書を審査し、審査結果に基づいて正式な招待状を送ります。

会費

未定

参加・発表申請先：sciea2023@outlook.com

東アジア文化交渉学会 第15回年次大会準備委員会

主任 劉 雨珍 副会長（南開大学外国語学院教授、東アジア文化研究センター主任）

副主任 閻 国棟（南開大学外国語学院教授、院長）

江 沛（南開大学歴史学院教授、中外文明交叉科学中心主任）

孫 衛国（南開大学歴史学院教授、韓国研究中心主任）

劉 岳兵（南開大学日本研究院教授、院長）

金 明洙 会長（啓明大学校 国際地域学部 准教授）

内田慶市 副会長（関西大学 名誉教授）

藤田高夫 評議員（関西大学文学部 教授）

陶 徳民 評議員（関西大学 名誉教授）

木村昌人 評議員（神田外語大学 名誉教授；関西大学 客員教授）

事務局

沈 国威 事務局長（関西大学外国語学部 教授）

于 君（南開大学外国語学院 副教授）

鄭 琳（南開大学外国語学院 講師）